

# 住民自治協議会だより

第27号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876  
長野市大字山田中2545

TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074  
E-mail otagiri-jitikyoun@ngn.janis.or.jp

## 令和2年度 小田切住民自治協議会総会 開催中止で役員会が代行

新型コロナウイルス感染症の拡大発生に伴い、4月17日開催予定の総会は中止しました。住自協会則に基づき、役員会が代行し承認しました。

### 住自協全体

- ・地域間交流事業の実施
- ・「ながの未来トーク」の開催
- ・乗り合いタクシー予約業務と利用促進活動
- ・「寄って家'S」を通して住民相互の交流促進
- ・家事援助支え合い事業の立上げ
- ・小田切地区ガイドマップの発行
- ・長野翔和学園との協働事業
- ・住治協だより発行

### 総務・安全防災部会

- ・災害時緊急無線機の維持管理
- ・総合防災訓練の実施
- ・やまざと支援交付金事業の実施
- ・期日前投票支援事業の実施
- ・避難所用物品整備事業

### 福祉・健康部会

- ・地域福祉活動や地区健康保健活動の実施
- ・福祉委員会の各種事業の計画と実施  
高齢者の集い、喜寿祝賀会、サロン事業など
- ・福祉大会の開催
- ・老人クラブ・交流センター協働の健康講座

### 環境・地域活性化部会

- ・環境整備、美化活動推進やゴミ集積所整備
- ・農作物の有害鳥獣対策
- ・観光推進事業や地域PR発信事業
- ・夏祭りの開催

### 教育・文化部会

- ・交流センター、地公連連携の各種行事推進
- ・青少年子ども育成活動と次世代育成
- ・人権啓発活動推進や社明運動など住民集会の開催



新住自協役員

新区長

## 会長挨拶

会長 関口 宜 桁



皆さんこんにちは、引き続き住民自治協議会会長の大役にご推挙いただきました地蔵平区の関口です。昨年は「夏祭り」の復活、本年度は「家事援助支え合い事業」がスタートしました。微力ではありますが皆様のご意見をお聞きしながら、暮らし易い小田切に向け、職責を全うする所存であります。より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新年度早々新型コロナウイルスにより日常生活の自粛が余儀なくされ、住自協でも地域間交流等、色々な事業が中止となりました。さらに、緊急事態宣言の延長により不安な日々が続き、皆さんもストレスが最大限に達していることと思います。そんな時には美しい小田切の自然の中、おもいきり体を動かしストレスを発散してみてください。

最後に、一日も早くコロナウイルスが収束し平穏な日常に戻れるよう、そして皆様が益々健勝であられまじよう祈念申し上げます。

### 人事異動

#### 小田切支所

- ◆ 転入 ◆ 支所長補佐（生涯学習センター所長補佐） 羽深 文男
- ◆ 転出 ◆ 生涯学習センター所長補佐（支所長補佐） 松本 洋

#### 小田切交流センター

- ◆ 転入 ◆ 係長（保健給食課係長） 松本 恵
- ◆ 転出 ◆ 大岡支所係長（係長） 佐藤 重光



## 令和2年度 一般会計収支予算

### <収入>

公的補助金	交付金	5,265,000
	補助金等	2,250,000
負担金	各区負担金等	1,179,900
雑収入	寄付金等	62,024
繰越金	前年度繰越	2,243,076
収入合計		11,000,000円

### <支出>

事業費	総務・安全防災部会	1,762,000
	福祉・健康部会	2,424,000
	環境・地域活性化部会	1,037,000
	教育・文化部会	1,379,000
運営費	事務局費	3,708,000
配分・委託費	各区配分、団体補助等	399,000
繰出金	福祉自動車	50,000
予備費		241,000
支出合計		11,000,000円

## 喜寿祝賀会、地域間交流事業など行事 次々中止 新型コロナウイルス感染症拡大

住自協で計画された行事や会議が次々と中止となっています。まず、3月4日に予定していた喜寿祝賀会が中止となり、対象者15名のせっかくのお祝いができず、記念品のみ贈ることとなりました。以後次々に計画行事が中止され、先の見通せない状況が続いています。

### 中止の主な講座・会議

- お達者教室「介護予防教室」(2/28)
- 地公連研修会 (3/24)
- 小田切住自協総会 (4/17)
- 老人クラブ総会 (4/21)
- 小田切八景めぐり (4/22、4/24)
- 地域間交流事業 (5/9長沼、5/17三輪、5/24安茂里地区)
- 肺がん×線健診 (6/3) など

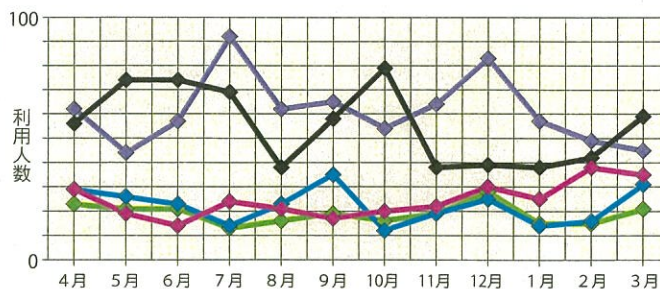
### 休館

- ふれあい交流ひろば (2/26～)
- 新橋いこいの家 (2/28～)
- 小田切交流センター (4/15～)
- 農村環境改善センター (4/15～)
- 青少年錬成センター (4/15～) など

## 「かつら号」運行実績 前年比10%増

乗合タクシー新「かつら号」2年目の運行状況は、利用人数が734人と前年比約10%増加しました。最近では新型コロナウイルス感染症で、外出自粛が影響し利用者が減っていますが、しばらく辛抱して、更に多くの皆さんがより便利にご利用してください。

### 利用者



## 福祉自動車の移送活動休止

4月13日から4週間

新型コロナウイルス感染症で、社協より福祉自動車移送運行休止の通知があり、すでに予約もありましたが、5月の連休明けまで休止対応して様子見の状況です。

## 今年の小田切夏まつり

8月10日(祝)で調整

第2回小田切夏まつりは、お盆前の8月10日開催を念頭に準備に向け、実行委員を立上げ予定です。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で会議も開けず、開催も不透明なところです。



## 小田切地区有償家事支援 順調にスタート



有償家事支援は2月17日の協力者説明会で、全員が共通認識で作業できるように調整し、発足時の協力者は40名で、うち女性は4名です。

最初の依頼は4月9日にあり、畑の耕運前の草取り依頼で、事務局も様子を見ながらの対応のため、現地確認のあと地元の協力者2名をお願いする事にしました。作業は1時間ほどで終わり、作業後のお茶タイムの雑談も「話し相手の訪問喫茶」となった様子で、まずは順調なスタートとなりました。

## 富士の塔 登山道の整備

恒例の富士の塔登山道整備は、4月15日に枇杷入口ルートを行いました。錬成センターや小田切交流センターからもそれぞれ2名に加わってもらい、10名の参加でした。今冬は積雪も少なく、目立った倒木もなくいつも以上にきれいに整備できました。来年は、平林ルートの整備を考えたいと思います。



## 冬の健康講座 「血糖値を下げる運動講座」

保健指導委員会は、1月29日交流センター体育館で糖尿病や生活習慣病を防ぐ運動講座を開催しました。参加した20名は、音楽に合わせてゆっくり歩きと早歩きを繰り返すインターバル歩行を実践し、雪のない暖冬とは言え冬の運動不足や外出機会の少ないこの時期に適した講座となりました。



## 長沼地区復興支援 小田切プロジェクト活動 5月の活動は来年に延期

小田切地区では、台風19号災害の長沼地区を支援しようと、NPO小田切オアシス、住自協、支所、交流センターで、長沼地区復興支援小田切プロジェクトを立ち上げました。

計画は、まず5月9日に長沼小学校の5、6年生親子など50名を小野平のわらび狩りに招待し楽しんでもらい、三竈神社や裾花ダムなどを見学する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による移動自粛要請で、来年度に延期しました。わらび狩りも個々に訪れる人には対応します。

今後の計画は、8月の小田切オアシスで栽培した枝豆と11月の野沢菜は計画通り無償支援の予定です。



# 巡礼桜 観桜会 中止

毎年恒例の巡礼桜観桜会も、三密回避の自粛要請に鑑み残念ながら中止となりました。満開は4月13日でしたが、全体の花付きはいつもより少なく感じました。ここから見渡す周囲の山々も絶景です。



小正月

今冬最高積雪15cm



下小鍋



西ノ久保



3月29日

交流センター休館



無及平



大川



各種団体長会「さざり荘」

ふれあいの椅子



2月9日



支所発支援金事業

## やまびこ

昨年12月中国湖北省武漢市を中心に発生した「新型コロナウイルス感染症」は、全世界に拡大してしまいました。密閉・密集・密接の三密回避、外出自粛、緊急事態宣言や休業要請、テレワークなど聞きなれない言葉が並びます。予防は検温、手洗い、アルコール消毒とのことだが、マスクにアルコール、体温計も売り切れてその電池さえ無い。未だ先が見えないが「stay home」。